

S I D R

(滋賀県感染症情報)

SHIGA Infectious Diseases Report

《月報》
平成19年6月
(第23～26週)

発行年月日:平成19年(2007年) 7月 18日
発行:滋賀県衛生科学センター内
滋賀県感染症情報センター
電話 077-537-7438 FAX 077-537-5548

1) 全数報告の感染症(一類～五類)

全国の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といえます。また、届出により全国または滋賀県で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。

感染症 類型	疾 病 名	平成 19年				平成 18年		感染症 類型	疾 病 名	平成 19年				平成 18年	
		1～5月		6月		1～12月				1～5月		6月		1～12月	
		滋賀県	全国	滋賀県	全国	滋賀県	全国			滋賀県	全国	滋賀県	全国	滋賀県	全国
一類	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	四類	東部ウマ脳炎 ^(*)	0	0	0	0	-	-
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0		鳥インフルエンザ	0	0	0	0	0	0
	痘そう	0	0	0	0	0	0		ニパウイルス感染症	0	0	0	0	0	0
	南米出血熱 ^(*)	0	0	0	0	-	-		日本紅斑熱	0	7	0	3	0	45
	ペスト	0	0	0	0	0	0		日本脳炎	0	1	0	0	0	7
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0		ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0		Bウイルス病	0	0	0	0	0	0
二類	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	鼻疽 ^(*)	0	0	0	0	-	-	
	結核 ^(*)	43	2,776	19	1,739	-	-	ブルセラ症	0	1	0	0	0	5	
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	ベネズエラウマ脳炎 ^(*)	0	0	0	0	-	-	
	重症急性呼吸器症候群	0	0	0	0	0	0	ヘンドラウイルス感染症 ^(*)	0	0	0	0	-	-	
三類	コレラ	0	8	0	0	1	47	羌しんチフス	0	0	0	0	0	0	
	細菌性赤痢	¹ 2	198	0	52	² 6	483	ポツリヌス症	0	2	0	0	0	2	
	腸管出血性大腸菌感染症	8	513	5	517	54	3,910	マラリア	0	18	1	4	0	61	
	腸チフス	0	16	0	1	0	72	野兔病	0	0	0	0	0	0	
	バラチフス	0	7	0	1	0	24	ライム病	0	0	0	2	0	13	
四類	E型肝炎	0	25	0	4	2	70	リッサウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	
	ウエストナイル熱	0	0	0	0	0	0	リフトバレー熱 ^(*)	0	0	0	0	-	-	
	A型肝炎	0	77	0	7	21	316	類鼻疽 ^(*)	0	0	0	0	-	-	
	エキノкокクス症	0	6	0	1	0	20	レジオネラ症	1	165	2	67	11	508	
	黄熱	0	0	0	0	0	0	レプトスピラ症	0	3	0	0	0	24	
	オウム病	0	11	0	4	0	22	ロッキー山紅斑熱 ^(*)	0	0	0	0	-	-	
	オムスク出血熱 ^(*)	0	0	0	0	-	-	五類	アメーバ赤痢	7	305	0	76	8	738
	回帰熱	0	0	0	0	0	0		ウイルス性肝炎	1	70	0	24	0	275
	キャサヌル森林病 ^(*)	0	0	0	0	-	-		急性脳炎	1	101	0	19	1	160
	Q熱	0	3	0	0	0	2		クリプトスポリジウム症	0	3	0	1	0	14
	狂犬病	0	0	0	0	0	2		クロイツフェルト・ヤコブ病	2	67	1	13	0	177
	コクシジオイデス症	0	2	0	0	0	2		劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	45	0	8	6	107
	サル痘	0	0	0	0	0	0		後天性免疫不全症候群	5	541	1	137	8	1,301
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0		ジアルジア症	0	17	0	6	1	87
	西部ウマ脳炎 ^(*)	0	0	0	0	-	-		髄膜炎菌性髄膜炎	0	10	0	1	0	14
	ダニ媒介脳炎 ^(*)	0	0	0	0	-	-		先天性風疹症候群	0	0	0	0	0	0
炭疽	0	0	0	0	0	0	梅毒	0	229	0	61	4	625		
つつが虫病	0	70	0	14	0	397	破傷風	0	30	0	10	1	115		
デング熱	1	22	0	6	0	57	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0	0	0	0	0		
							バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	31	0	5	0	79		

- : 感染症法の改正以前は未集計 (*): 感染症法の改正後(H19.4.1)から集計

*1 検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分

*2 検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分2件を含む

滋賀県における全数報告 感染症の概要(6月)

<結核>

性別: 男性 11名、女性 8名
類型: 無症状病原体保有者 1名
患者 13名、疑似症患者 5名
病型: 肺結核 15名
その他の結核 4名

<腸管出血性大腸菌感染症>

性別: 男性 2名、女性 3名
年齢: 5歳、11歳、13歳、21歳、71歳
血清型・毒素型: O157・VT2 2名
O157・VT1&VT2 3名

<マラリア> 女性: 23歳

推定感染経路は蚊からの感染、
推定感染地域はインドネシアです。

<レジオネラ症>

男性: 56歳、男性: 84歳
推定感染経路は水系感染および
塵埃感染で、推定感染地域は
2名とも日本国内です。

<クロイツフェルト・ヤコブ病>

男性: 69歳
推定感染経路は不明で、推定感
染地域は日本国内です。

<後天性免疫不全症候群>

男性: 29歳
無症状病原体保有者で感染経路は
同性間性的接触です。

2) 定点把握の対象となる五類感染症

感染症発生動向調査事業に係る報告のうち、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症を定点把握対象感染症といい、また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります(疾患により定点数は異なります)。また、疾患によりインフルエンザ定点、小児科定点、眼科定点および基幹定点に分かれています。

6月の概要

<インフルエンザ>

第23週(6/4~6/10)に彦根から報告がありましたが、第24週(6/11~6/17)以降は県内における報告はありません。

<小児科定点疾患>

咽頭結膜熱、手足口病、突発性発しんおよびヘルパンギーナは先月より増加し、その他の疾患については減少または横ばいとなっていました。咽頭結膜熱は大津および東近江で増加していました。手足口病およびヘルパンギーナは第23週以降増加傾向を示し、特にヘルパンギーナは第25週(6/18~6/24)以降長浜で急増していました。百日咳は大津および東近江から、風しん(三日はしか)および麻疹は大津からの報告がありました。また、伝染性紅斑は減少傾向を示していましたが、甲賀では多く発生していました。

<眼科定点疾患> <基幹定点疾患>

眼科定点疾患である流行性角結膜炎は先月より減少し、急性出血性結膜炎は東近江からの報告が多くなっていました。また、基幹定点疾患である細菌性髄膜炎およびマイコプラズマ肺炎は甲賀から、無菌性髄膜炎は東近江からの報告がありました。

警報および注意報発生状況

「感染症発生動向調査に基づく感染症の警報・注意報システム」による警報および注意報の発生状況は下記のとおりです。

<各定点の対象疾患>

疾患名	23週 6/4~6/10	24週 6/11~6/17	25週 6/18~6/24	26週 6/25~7/1	警報開始 基準値	警報継続 基準値	注意報開始 基準値
咽頭結膜熱(プール熱) 保健所	大津	大津	大津 高島	大津 東近江 高島	2.00	0.10	
感染性胃腸炎 保健所	長浜	長浜	長浜		20.00	12.00	
水痘 保健所	高島 甲賀	甲賀			7.00	4.00	4.00
伝染性紅斑(リンゴ病) 保健所	甲賀 高島	甲賀 彦根 高島	甲賀 高島	甲賀	2.00	1.00	
ヘルパンギーナ 保健所				長浜	6.00	2.00	
急性出血性結膜炎 保健所				東近江	1.00	0.10	

：警報開始基準値または警報継続基準値を超えています。 :注意報開始基準値を超えています。

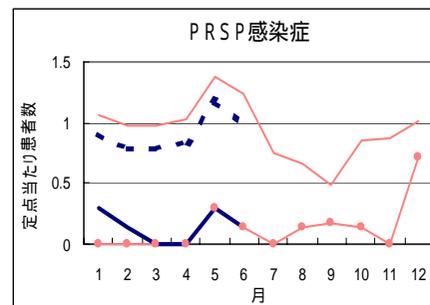
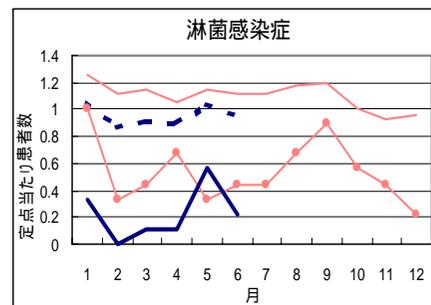
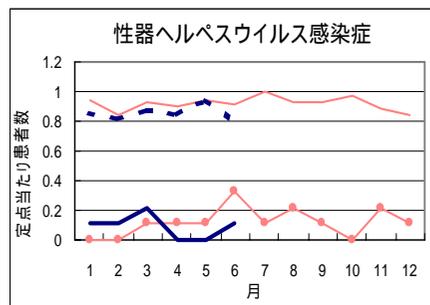
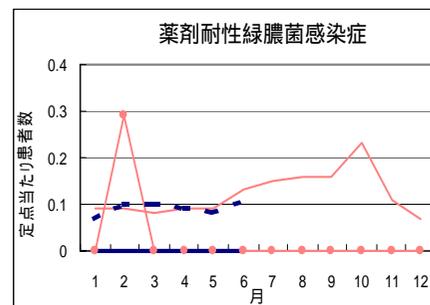
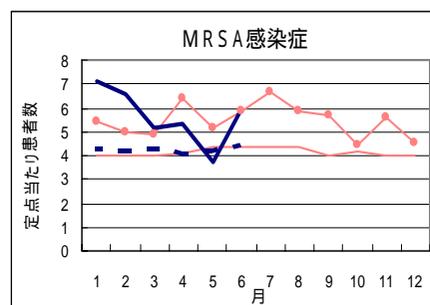
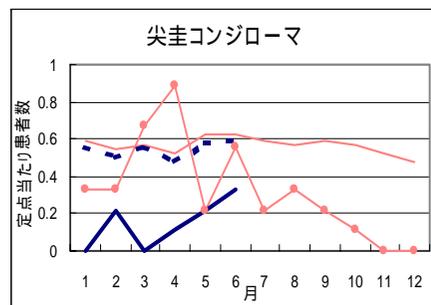
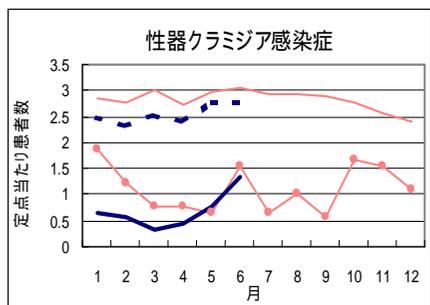
* 基準値の数字は定点当たり患者数(人)です。注意報開始基準値で数字が入っていないものは、注意報の対象外です。

定点	疾患名
インフルエンザ定点	インフルエンザ
小児科定点	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、咽頭結膜熱、A群溶レン菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑(リンゴ病)、百日咳、突発性発しん、ヘルパンギーナ、風しん(三日はしか)、麻疹、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)
眼科定点	急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎
基幹定点	細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、成人麻疹、クラミジア肺炎(オウム病を除く)

全国集計などの詳細な集計結果は、**国立感染症研究所感染症情報センターのホームページ**(<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>) において公表されています。

3) 性感染症定点および基幹定点における疾病別発生状況(平成19年6月)

疾患名	区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
性器クラミジア感染症	罹患数	6	5	3	4	7	12							37
	定点当たり	0.67	0.56	0.33	0.44	0.78	1.33							4.11
性器ヘルペスウイルス感染症	罹患数	1	1	2	0	0	1							5
	定点当たり	0.11	0.11	0.22	0	0	0.11							0.55
尖圭コンジローマ	罹患数	0	2	0	1	2	3							8
	定点当たり	0	0.22	0	0.11	0.22	0.33							0.88
淋菌感染症	罹患数	3	0	1	1	5	2							12
	定点当たり	0.33	0	0.11	0.11	0.56	0.22							1.33
メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	罹患数	50	46	36	37	26	42							237
	定点当たり	7.14	6.57	5.14	5.29	3.71	6.00							33.85
ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症	罹患数	2	1	0	0	2	1							6
	定点当たり	0.29	0.14	0	0	0.29	0.14							0.86
薬剤耐性緑膿菌感染症	罹患数	0	0	0	0	0	0							0
	定点当たり	0	0	0	0	0	0							0

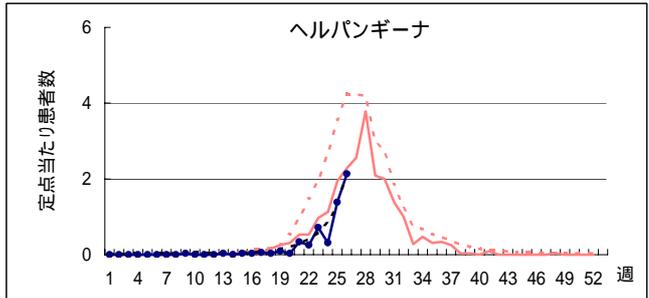
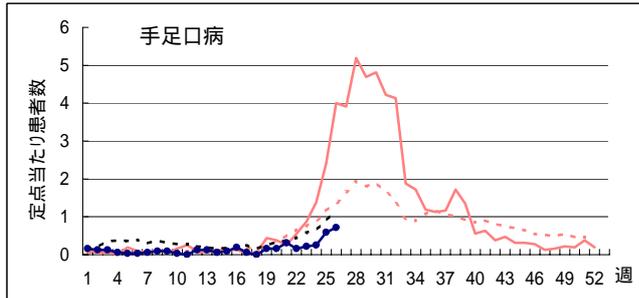
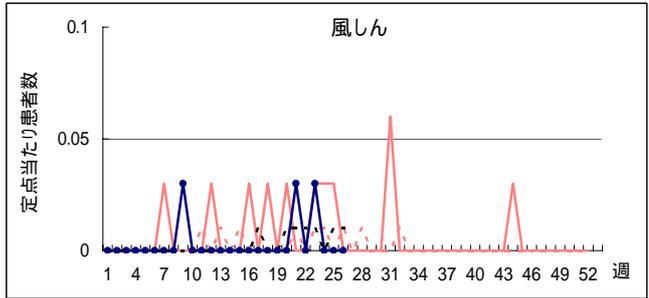
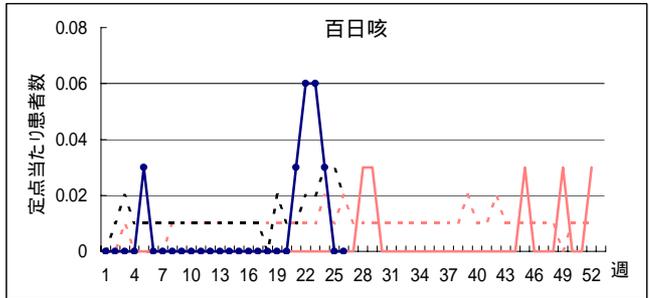
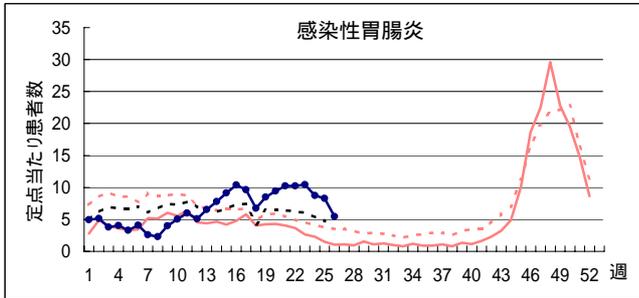
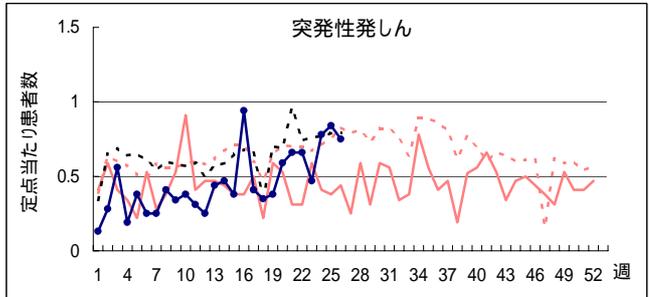
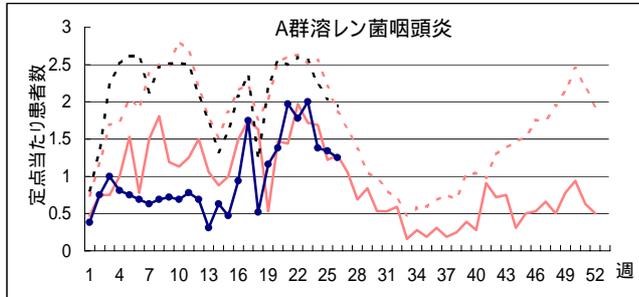
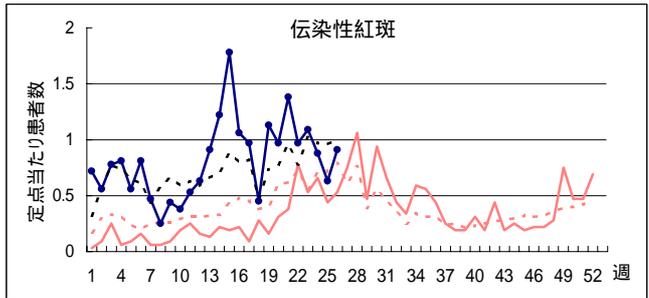
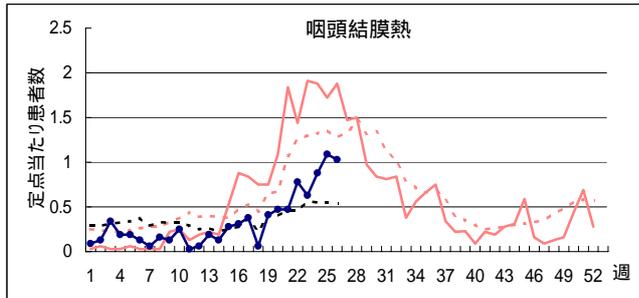
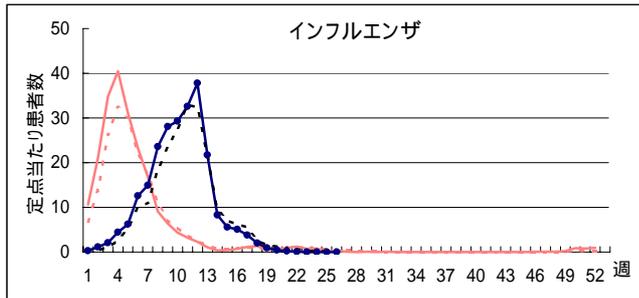


戻る

H18 { 滋賀 ●—●
全国 —
H19 { 滋賀 ●—●
全国 ●—●

MRSA: メチシリン耐性黄色ブドウ球菌
PRSP: ペニシリン耐性肺炎球菌

疾病別定点当たり患者数(平成19年第1週～第26週、H19.1.1～H19.7.1)



疾病別定点当たり患者数(平成19年第1週～第26週、H19.1.1～H19.7.1)

H18
 〔 滋賀 ————
 全国 - - - - -

H19
 〔 滋賀 ●—●—●—
 全国 - - - - -

